



プレスリリース

LDRA 社 TBsecure™ に CERT C コードの安全性ルールチェック機能を搭載

Boston, MA October 28, 2008. LDRA 社 (開発ライフサイクルを一貫してカバーする、ソフトウェアの自動検証・ソースコード解析・テストツールの第一人者)は、SEI(the Carnegie Mellon Software Engineering Institute)の CERT C ソースコードの安全性規約に対応した TBsecure プラグインをリリースしました。TBsecure により、セキュリティの脆弱性を検出し、CERT C Secure Coding Standard version 1.0 に準拠したコーディングが行えるようになります。

CERT C v1.0 標準は、Software Development Best Practices in Boston で、TBsecure による CERT C プログラム・チェッカーの Embedded Systems Conference での発表に合わせてデビューします。

TBsecure は、TBvision (LDRA ツールスイートの中で、ソースコードに対する脆弱性の確認、欠陥検出、標準への準拠の確認を取るためのモジュール)に組み込まれます。TBsecure により、CERT C コードの安全性規約を確認し、TBvision にその結果は受け渡され、コードの品質、欠陥検出、回避策をコールグラフやフローグラフ、コードレビューレポートなどをグラフィカルに解析できるようになります。

TBsecure プラグインを用いることで、管理者、開発担当者、チームメンバーは、実装されるアプリケーションコードのセキュリティの尺度を直感的で読み取り易い形式で、共有しモニタすることができます。

” ソフトウェアシステムの相互接続・運用が増加する中、ソフトウェアのセキュリティへの攻撃も増加の一方です ” -Robert Secord 氏, Senior Vulnerability Analyst with the SEI CERT program ” 現在の社会は、ミッション・ビジネス・セーフティにクリティカルなシステムのソフトウェア・アプリケーションへの依存が高くなっています。調査によると、これらシステムの脆弱性の主な原因は、一連のプログラミングエラーに由来すると指摘されています。CERT C スタンドアードは、ソフトウェアテストや解析のツールを用いて、これら問題が製品コード化されることを未然に防ぎ、リスクを下げることを目的としています ”

” 適切な安全性技術無しに、個人や企業は、コードへの悪意のある攻撃、不正な取引、盗み取りなどの、増加にさらされています。 -Ian Hennell, LDRA Operations Director ” LDRA では、欠陥の無いソフトウェア (zero-defect software) の支援にフォーカスしています。そして、CERT C 準拠のプログラミング・チェッカーを最初に提供できることを大いに喜び、またこのスタンドアードは、攻撃に対して堅牢で抵抗力のある高品質のシステム開発に役立てられることを確信しています ”

CERT C コードの安全性に関するスタダードは、C プログラミング言語に対する安全なコードの為のルール、提言を提供します。これらのルール、提言の目的は、不確かなコーディング慣習や、攻撃されやすい不確定な振舞いを、排除することです。安全なコーディングのためのスタダードに準拠したアプリケーションは、攻撃に対して堅牢で抵抗力のある高品質なシステムとなるでしょう。CERT C のルールと提言は、プラットフォームやオペレーティングシステムに対して依存しないように設計されています。そして、自動化手法を用いてソースコード検証の尺度として用いられます。

TBsecure により、LDRA 社のツールスイートは、以下に分類されるような、増加傾向にある安全性への課題を抱えるアプリケーションに対して、広範なプログラミング・ルールを適応できるようにしました：

- ・動的なメモリアロケーション(A)。動的なメモリ管理は、良くあるプログラム上の欠陥の原因となり、ヒープ・バッファのオーバーフロー、ポインタエラー、ダブル開放などの、安全性に関する問題を引起します。動的なメモリ割り当て、読み書き、開放など。
- ・脆弱性(V)：このルールは、動的なメモリ管理以外で不確かなコーディングの慣習を排除することを目的としています。配列の範囲外アクセスや、ヌルポインターなど。

TBsecure と CERT C の安全性プログラミングチェッカーの提供は、LDRA 社のプログラミング・スタダードに対する主導的立場を拡大し、MISRA C:2004, MISRA C+:2008 や他の開発にも貢献していることへの証です。

出荷予定

TBsecure と CERT C 安全性コーディングチェッカーは、既に入手可能です(25万円程度のオプション)。LDRA の、CERT C に関する詳細は、<http://www.ldra.com/certc.asp> を参考下さい。CERT C に関する一般的な情報は、<http://www.securecoding.cert.org> にあります。

###

LDRA の製品について

多くの革新的なテスト手法は、LDRAが開発した方法論からもたらされています。LDRAの統合化テストツールでは、ソフトウェア開発、メンテナンスに於ける主要な8つのタスクが支援されます。これは、開発担当者、QAマネージャ、テスト担当者、プロジェクトマネージャ、メンテナンス、サポート担当者など、プロジェクトチーム内の全ての方に、ソフトウェア開発ライフサイクルの自動化に、活用されています。LDRAのツール群を用いることで、より良く構成され、ドキュメント化され、テストされたソフトウェアを出荷できると同時に、開発にかかる費



用、時間、工数を飛躍的に削減できるようになります。より詳しい情報は、www.ldra.com あるいは、<http://www.fuji-setsu.co.jp/products/LDRA/> を参考ください。

LDRA 社について

30 年以上に渡り、高信頼性システムのコード解析、ソフトウェアテストを自動化するツールを開発し、提供しています。これらツールは、航空宇宙、防衛、原子力発電、自動車などの業界で採用されています。これらの顧客は、LDRAツールを用いることで、製品が所定の規格に準拠していること、堅牢で信頼性が高いことを確かにしています。LDRAツールは、非常に多くのプログラミング言語、一般的なホストプラットフォームに対応し、あらゆるターゲット環境をサポートしています。LDRAは、英国に本社、北米にも拠点を置き、日本を含めて世界中に代理店網を持っています。より詳しい情報は、www.ldra.com あるいは、<http://www.fuji-setsu.co.jp/products/LDRA/> を参考ください。

お問合せ先：

Mark James

LDRA, Portside, Monks Ferry, Wirral, CH41 5LH, UK

Email: mark.james@ldra.com

国内代理店：

富士設備工業株式会社 電子機器事業部

〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町 1928-1

Email: info@fuji-setsu.co.jp